

Ⅲ 海外交流事業

1) 英語英文学科

米国カリフォルニア州立大学ロングビーチ校での海外英語演習

引率教員：英語英文学科 准教授 コットン ランダル

期 間：令和元年9月3日～9月16日

渡 航 先：アメリカ合衆国カリフォルニア州ロングビーチ

参加人数：23名

本演習は、ロサンゼルス以南に位置するカリフォルニア州立大学ロングビーチ校 (California State University, Long Beach) における、語学演習プログラムとして展開された。およそ半月の期間中、学生達はそれぞれアメリカの家庭にホームステイをしながら、カリフォルニア州立大学に通学し、英語のコミュニケーションやアメリカ文化を学んだ。研修内容は、語学学習だけにとどまらず、アメリカの文化や歴史なども含まれ、参加学生たちは勉学に対して大いに刺激を受けることが出来たようだ。

また滞在中、本学引率教員とともにアメリカの高校を訪問し、さらにカリフォルニア州立大学の授業に参加しながら、岐阜文化や日本文化をプレゼンなどで紹介した。授業では、鵜飼や岐阜ゆかりの映画作品、岐阜の特産品、日本の流行り言葉なども紹介することができ、国際交流をする貴重な機会に恵まれた。

本演習を通じて、参加者たちはアメリカの生活のありようや、外国で勉強することはどういうものなのかなどを知ることができ、非常に有意義な研修となった。

2) 国際文化学科

海外言語・文化演習（韓国）

引率教員：国際文化学科 教授 川上 新二

期 間：令和元年8月19日～8月26日

渡 航 先：韓国（慶州、浦項、釜山）

参加人数：17名

韓国・威徳大学の学生寮に5泊、一般家庭にホームステイで1泊、釜山のホテルに1泊した。学生寮には威徳大学日本語文化学科の学生も宿泊してくれた。学生寮滞在中には、午前中に大学で韓国語の授業を受け、午後には威徳大学の学生と共に、仏国寺や石窟庵など世界遺産のある慶州市や、日本家屋の残る浦項市九龍浦などを見学した。ホームステイでは慶州市や浦項市の一般家庭に宿泊し、韓国の生活習慣を体験した。最初は一人で外国の家庭に泊まることに不安を感じていた学生たちも、ホームステイが終わってホストファミリーと別れるときには、みな笑顔と寂しさが半々であった。

今回の研修は日韓関係がこれまでになく難しいときに行われたが、威徳大学の先生や学生たちが例年と同じく準備や計画をしてくれ、またホームステイ先でも温かく迎えてもらい、楽しく有意義な、心に残る研修となった。



海外言語・文化演習（英語圏）

引率教員：国際文化学科 専任講師 柳楽有里

期 間：令和元年9月3日～9月13日

渡 航 先：アメリカ合衆国ワシントン州ポートエンゼルス

参加人数：13名

2019年度の国際文化学科の海外言語・文化演習（英語圏）は9月3日から9月13日まで、アメリカ合衆国ワシントン州ポートエンゼルスのペニンシュラカレッジで実施された。参加者は13名であった。基本的に午前中は大学で英語の授業を受講し、午後は現地の学生やホストファミリーも交えて様々なアクティビティーに参加し英会話体験を通じてより実践的に英語学習に取り組んだ。また、ポートエンゼルスの公立小学校を訪問し日本文化を英語で紹介した。小学校では日本語の歌や折り紙のおり方を教えるという貴重な体験を通して、アメリカの文化と日本文化について多くのことを語りまた共有し合う機会を得た。このように、学生たちは終始英語を用いてコミュニケーションを取り自らの考えや意見を述べる機会が与えられ、英語に触れるだけでなく互いの文化の類似点や相違点にも気づかされる日々となった。最終日には修了証書の授与式が行われ、本研修においての学習成果が評価されたことは今後の学生生活を送るうえで大きな励みとなった。



海外言語・文化演習（中国語圏）

引率教員：国際文化学科 教授 王武雲

期 間：令和元年9月10日～9月17日

渡 航 先：中国（広州市、深圳市、香港）

参加人数：13名

今年度の中国語圏研修は、令和9月10日から17日まで中国の広州市にある「広東外語外貿大学」で実施した。大学のホテルで五泊、中国で一番発展していると言われている深圳市と香港に一泊ずつしていた。

広州市に滞在中、午前には、中国語の授業を受けた。今年度は初めて他の外国人留学生もいる中国語のクラスに入れてもらって、多文化的なクラス雰囲気を楽しむことができた。授業は英語なので、色んな国から来た留学生もいる中、学生にとってとても新鮮で、挑戦的だったと思われた。午後には、広東外語外貿大学日本語学部の学生と共に、交流会をしたり、広州市にある歴史遺跡や博物館などを見学したりして、有意義な時間を過ごした。

最後の二日間の深圳市と香港での見学は、中華民族園、香港のお寺と文化センターなどを回り、大陸と香港の「一国二制度」の理解を深めた。

この研修を通して、習得した中国語能力が高まり、中国の文化や習慣などに直接触れることができ、学生の視野を広げるいいチャンスとなった。



3) 生活デザイン学科

スペイン（マドリード・バルセロナ）での海外研修

引率教員：生活デザイン学科 教授 服部 宏己
准教授 小川 直茂

期 間：令和2年2月14日（金）～2月21日（金）

渡 航 先：スペイン（マドリード・バルセロナ）

参加人数：28名

今年度の海外研修では、スペインの2都市（マドリード・バルセロナ）を対象とした。マドリードではプラド美術館やソフィア王妃芸術センターなどでの中世～現代に至る芸術鑑賞、バルセロナではサグラダ・ファミリアをはじめとするアントニオ・ガウディの建築群鑑賞などを行程の中核に位置づけ、研修計画を立案した。

参加した学生諸氏は、8日間の研修を通して、ファッション、建築・インテリア、ヴィジュアルそれぞれの専門的見地から、中世～現代に至るスペインの建築、芸術、デザイン等に触れ、生活デザイン分野の知見を深める有意義な機会となった。

